

2020 年度



Globe 実践をふり返って

東川小学校

今年度の重点

- 1 カリキュラムの見直し
 - (1) Globe 授業にかかわる指導方法、評価方法の充実
 - (2) Communication 要素の評価 (CAN-DO リスト) の充実
- 2 国際教育の接続について
 - (1) Local/Global 要素の系統性の確立
 - (2) 教科横断的指導の充実

上記の重点を受けて、本校では校内推進プランを進めてきた。



他国の珍しいものを直接尋ねる活動を知らせ、その国のあいさつや自然、食べ物などを調べることで、歓迎の気持ちや他国への興味が深まる。世界の国のことをたくさん聞こう
 ≪2年生≫



CIRからのビデオメッセージで「日本の遊びを教えてほしい」という問題提起で、子どもたちは遊びを教える目的と楽しんでほしいという思いが生まれる。日本の遊びを教えよう
 ≪4年生≫

外国の方と直接交流することで、より東川の文化を伝えたい意欲が高まり、郷土愛につながる。またCIRから母国の文化を聞くことでより他国の文化を受け入れることにつながる。互いの地域の行事を伝えよう
 ≪5年生≫



【評価の在り方】

研修の柱2 【評価の在り方】

- ①評価する資質能力の具体を考える
 →子供の姿で想像する。
- ②単元における評価場面と評価方法の焦点化
 →知識技能は、「CAN-DO リスト」を元に。思考判断表現は、「パフォーマンス評価」を視点の1つとして。主体的に学習に取り組む態度については、「学ぶ楽しさ」を。
- ③評価内容・場面・方法の精選によって、持続可能な評価に
 →子どもと教師の両方のために、精選を。

本校では、数値化しにくく、ペーパーテストなどでも評価しにくい観点を見取るための手段として、ルーブリック評価を取り入れている。(小学校各教科「評価・評定」のすべてより) 学習到達度を示す評価基準を観点と尺度からなる表として示したものを作成し、Today's Goalの子どもの具体的な姿をおさえることができると考えた。このことにより、教師は、ブレのない目標と評価が実現可能となり、子どもは自分がどの段階にいるのか、自らの学びを振り返りながら意欲的に学習すると考え実践を積み重ねてきた。

また、L/G要素の思考・判断・表現の評価について実践を進めてきた。

子どもの姿を具体的に言葉で表現したことで、子どもも授業者も単位時間および単元の Goal が明確となり、互いに意識して授業に臨むことができた。

しかし、正直難しいということがわかった。また、L/G要素の思考・判断・表現にかかわる学習はあまりないので、カリキュラムに意識できるようにしてもよいのではないかと考える。



英語で買い物ゲームをする場面

S：2回目の買い物シートに10種類のうち8種類以上の果物に印がついている。果物や Here you are. など言えない子に教えている。

A：2回目の買い物で1回目よりも3～4種ほど増えている。店と客役を自信をもってできている。《1年生》

日本と世界の数え方の共通点や相違点を見つける場面

S:他国の国同士の数え方の相違点を見付け、表現している。

A:日本と他国との数え方の相違点を見付け、表現している。

《3年生》



日本と世界の衣服について考える場面

S：世界の服についての特徴と日本の着物の特徴を関連付け、そのよさを根拠をもって表現している。

A：体験をもとに気候、着る場面などから、世界の服についてのよさについて考え、表現している。また、日本の服についてもよさを再確認している。

《6年生》

【個への手立て】

1年生では、事前に手立てを考えておくように実践を進めてきた。その一方で、その時間になってみないと予想できない動きをする児童もいる。今回、なかなか自分から買い物に行けない児童へ、「おつかいを頼む。」という形で話してみると、やる気がアップしたり、買う物を選べたりした子もいた。臨機応変な対応も大切だからこそ、予め共通理解のもと、事前の手立てを考え、役割を分担してサポートできたことがよかった。

あたまにクワッチ	9 がつ	からだのふぶんを えいごで いおう!	たちようゲームがたの しかった。いっはいえ いごをいえた。
	2 にち	😊 😊 😊	
サマー	8 がつ	みつけたなつき えいごで いってみよう!	えいごでなすがにがと だったけどいっはいいう といえるようになった。
	26 にち	😊 😊 😊	

1年生 振り返りシート



3年生 英語劇を参観日で披露

4月のアンケート（3年生以上）では、Globe 嫌いの児童が各学級に1割前後の割合で存在していた。そのほとんどが「英語について自信がない」「英語が嫌い」（10人中9人）であった。（「人と話すのが恥ずかしい」（1人）も少し）。

そこで、Globe が好きになるように他の子どもよりも多い声かけ、取り組むことができるワークシートの工夫、参加できるためのグループ作りの工夫など、その児童にあった手立てを考え、変容が見られた取組について記録していった。

8月 いろいろな取組をするが、やりたがらない態度が目立つ。

9月 アルファベットビンゴには、やはり興味を示した。また、アルファベット探しプリントにも興味を示し、取り組むことができた。

10月アルファベット人文字～参加できた。発話することは少ないが、今までの参加の姿勢とはちがひ、一緒に活動することが増えた。

What's this クイズ～自分の好きなカブトムシをクイズにすると、グループ内で進めることができた。

3年生 8月からの様子と手立て

4年生では、4月当初にとったアンケートをもとに、Globeを苦手とする児童とその理由を、左記の表のようにまとめた。表では、Globeを苦手とする児童を青、好きな児童をオレンジで表し、指導者が明確に把握できるようにした。これを受け、毎週行われる打ち合わせでは、その時の学習内容を踏まえて、児童の実態に応じた手立てを担任とJTEと考へ実践した。具体的には、「チーム編成の考慮」「担任とJTEとALTの役割分担と支援する児童の明確化」「困難への見通しおよび学習方法の自己選択」「単元ゴールの明確化と練習時間の十分な確保」「ワークシートによる学習内容の明確化」「イラストなど視覚的情報の効果的活用」などが挙げられる。

その結果、Globeへの苦手意識を持っていた児童が、秋以降の学習では、意欲的に学習へ参加する姿が見られるようになり、苦手で逃げ出していた児童も、日本の遊びを世界の方に進んで伝える姿が見られた。

また、アンケートの結果では、Globeへの苦手意識を持つ児童の人数が減少した。(4月のアンケートでは、Globeが苦手と答えた児童が9人いたが、11月のアンケートでは、3人になった)。

このように、一人ひとりのGlobeへの興味・関心を把握し、実態に合った指導内容や支援体制に取り組むことが成果として挙げられる。

4年1組	特別支援	①Globeは好き?	理由	②日本・東川のよさ?	③日本や東川を他國の人にしてみたい?	④他國の人と友達になりたい?他國を知りたい?	⑤他國の文化を理解しようとしている?
		1	外國のことをいっぱい知れてゲームも楽しいから	1	1	1	1
		1	色々な英語を知れるし、外國の人といろいろ話せる	2	1	2	1
	すずらん	3	めんどいから	2	4	1	2
		3	英語が苦手だから	2	2	2	1
		1	最後にゲームをするから、英語の勉強が好きだから。	1	1	2	2
	どんべり	4	英語がわからないから	1	3	2	1
		4	英語がわからないから	1	3	2	1
	どんべり	3	人に英語で劇とかをするのが苦手	3	1	1	3
	すずらん	4	英語はとくじやない。	1	1	2	1
		2	歌や遊びがおもしろい。	2	3	2	1
	どんべり	2	色んな國の人と話せるから	2	3	2	1
		1	ゲームができる。色んな企画がおもしろい。色んな世界のものを知れる。	1	1	1	2
		1	ドナの友達と話せるから	2	2	1	3
		1	ゲームもあるし英語もいろいろおぼえられる	1	1	2	1
		1	色々なゲームがあるから	1	2	1	2
		1	ゲームができるから	3	1	1	2
		2	そもそも英語は苦手。でもゲームはおもしろい	1	4	2	3
		2	英語でゲームができるから	1	1	4	1
	すずらん	2	ゲームの時間が楽しい	2	1	2	1
	どんべり	1	外國の人と関われる	1	1	1	1
		1	色んなゲームや色んな人に会えるから	2	3	2	3
		1	ゲームもあるし英語もいろいろおぼえられる	1	1	2	1
		1	大人になつて役立つかもしれないから	2	1	2	1
	どんべり	1	楽しみだから	2	1	4	3
		1	ゲームが楽しい。英語はそんなにわからないけど書けるのが楽しい。	1	1	2	1
	すずらん	3	英語がめんどくさい	1	1	2	4
		1	英語がめんどくさい	1	1	2	4
		1	色々な國のことが知れるから	2	1	4	1
		3	あまり英語がわからないから	2	1	3	2
		1	英語で外國の人としゃべりたい	2	1	1	1
		4	歌とか歌うのがめんどくさい。難しいゲームなどがある。	2	3	4	2

4年生 4月からの変容の様子



4年生 ALTに竹とんぼのコツを教えている

2. 国際教育の接続について

【L/G 要素の充実】

昨年度の反省で、「Local 要素の学習が少ない」というご指摘を受けて、Globe10 を下のように日本や世界の文化について体験を通して学ぶ活動を実践している。

Globe10 東川&日本っておもしろい！世界っておもしろい！ 東川小バージョン						
日本と世界文化の様々な体験をすることで、「世界っておもしろいなあ」「すごいなあ」と感じてほしいと思っています。今年度、カリキュラムに整えてみました。6年間通して、色々な国の文化や、日本の文化を体験することができるようになりますといいです。						
2020. 4. 3 グローブ№ 東川小 松田						
学年 (時数)	1年 (4)	2年 (4)	3年 (4)	4年 (4)	5年 (5)	6年 (3)
テーマ	ダンス	あそび	音楽	ゲーム	コーヒー、お茶	服
日本 	<input type="checkbox"/> 盆踊り (1)	<input type="checkbox"/> あそび歌 (1)	<input type="checkbox"/> 和太鼓に挑戦 (2) (羽衣太鼓)	<input type="checkbox"/> 囲碁または将棋 (1)	<input type="checkbox"/> 茶道 (2)	<input type="checkbox"/> ゆかたを自分で着てみよう (2)
世界 	<input type="checkbox"/> 日本舞踊 (1)	<input type="checkbox"/> 体を使った音遊び (1)	<input type="checkbox"/> インドネシアのアンクルンをならそう (1)	<input type="checkbox"/> 百人一首 (1)	<input type="checkbox"/> 東川コーヒー (1)	<input type="checkbox"/> 世界の民族衣装ファッションショー (1)
	<input type="checkbox"/> ラトビアのダンスを踊ろう (1)	<input type="checkbox"/> インドネシアの遊びをしてみよう (1) スーパーボールと貝/ゴム遊び	<input type="checkbox"/> ウズベキスタンのドミノをしてみよう (1)	<input type="checkbox"/> ウズベキスタンのドミノをしてみよう (1)	<input type="checkbox"/> ベトナムのコーヒーって? (1)	<input type="checkbox"/> ウズベキスタン、タイ、中国、韓国、ベトナム、ミャンマー
	<input type="checkbox"/> タイのダンスを踊ろう (1)	<input type="checkbox"/> ロシアの遊びをしてみよう (1) 海陸ゲーム	<input type="checkbox"/> 韓国の太鼓、チャングを作ってみよう (1)	<input type="checkbox"/> ミャンマーのビー玉あそび (1)	<input type="checkbox"/> 中国の茶室って? (1)	
こんなステキな東川 (東川の名人)	<input type="checkbox"/> 吉里さんの写真の話 (ギャラリー)	<input type="checkbox"/> 千葉さん (リーフスタイル (木工)・元PTA会長) のお話	上のゲストに、それぞれ東川の素敵なところを少し語ってもらう			

小学校では、ゲストを呼びいろいろな体験をさせることで、日本や世界の文化を感じ取り、比較し、それぞれの文化のよさを見つけ、国際教育の推進を図っている。

1年生のテーマは「ダンス」。

Local 要素として、日本舞踊を教えてもらった。この後、世界のダンスを教えてもらい、L/G 要素の体験活動でそれぞれの文化を体感する。

《1年生》



外部講師から日本舞踊を教えてもらう



CIR から文様について教えてもらう

5年生のテーマは「コーヒー・お茶」から「文様」に変更。

コロナ禍で、飲食をともなう学習が制限されたため、急遽内容を見直し、「文様」について学ぶことにした。日本の伝統文様を学んだ後、ラトビアの文様について CIR から教えてもらい、それぞれの特徴や共通点について考えた。この後、アイヌ文様について学び、オリンピック・パラリンピックのラトビア選手への応援メッセージを文様を施して作成する。

《5年生》

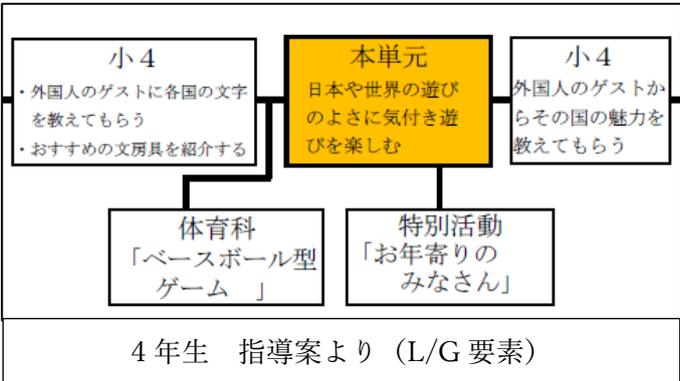


6年生のテーマは「服」。
Local 要素として、着物について教えてもらい、浴衣を実際に着た。Global 要素として、世界の民族衣装も着せてもらい L/G 要素の体験活動を通して、それぞれの文化のよさを考えた。
《6年生》



【Globe 別葉の活用】

1・2年生の生活科はもちろん、3年生の算数「棒グラフ」と「What do you like?」で高学年好きな物調べ、5年生の6年生の「世界っておもしろい」と家庭科「衣服」、学校行事「修学旅行」の世界の民族衣装についてなど、Globe 別葉を活用して進めてきた。
今年度は、研究授業の指導案にも位置づいており、より意識して取り組むことができた。



内容・人	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年
Global	①名刺や封筒など、誕生日の色紙交換しよう! My Birthday is special!	②食べ物や飲み物の色紙交換しよう! How is your school life?	③熊や大蛇にたいして色紙交換しよう! Let's go to baby.	④世界と日本の夏休みの過ごし方を色紙交換しよう! Summer Vacation in the World!	⑤パラパジアンを色紙交換しよう! What do you want to watch?	⑥食生活習慣について We all live on the Earth.	⑦世界の料理 Let's think about our food.	⑧小学校の思い出を色紙交換しよう! My Best Memory.	⑨夢や中学校生活への色紙交換しよう! My Future, My Dream.	⑩世界っておもしろい! (食器)		
ALT	近況センター	東川中学校	JICA	ICC (東川国際交流)	ICC (東川国際交流)	東川町立日本橋小学校	東門小学校	バグリアン	東川南小学校			
協力機関	東川文化会館 東川町 東川町立図書館	東川町立図書館	東川町立図書館	東川町立図書館	東川町立図書館	東川町立図書館	東川町立図書館	東川町立図書館	東川町立図書館			

6年生 Globe 別葉

しかし、十分に関連して学習を進められたかという点、そこまで至っていないと感じている。算数のグラフ、社会の歴史や公民、理科の家庭科の被服など、実践してみて分かったことも多いので、今後も関連できるところを確実に実施していくことが必要である。

3. 人と人のつながり

本校では、各学年で Globe 打ち合わせを定期的に行い、HRT（学級担任）・STE（特別支援担当教諭）・ALT・JTE（Globe 担当）みんなで授業づくりを進めている。実は、これが授業づくりにおいて一番大事な取組であると考えている。研究開発研究推進委員会（ワーキンググループ）作成のカリキュラムの学習内容共通理解、各学年児童の実態にあった指導方法、評価方法の工夫などは、この場で話し合われている。



4 年生 GlobeMeeting(毎週木曜日)

4. 今年度の成果と課題（○成果、●課題）

- 単元デザインについて、単元のゴールが明確に示されているので、子供も見通しをもって取り組むことができた。
- ルーブリックを活用することで、単元や本時の目指す子どもの姿が明確になるので、そのための指導や評価の具体につながった。
- 外部人材を継続的に活用してきたことで、目的をもって活動ができた。また、相手を意識して学習を進めようとする姿が多く見られた。伝えるために必要な英語も何回も練習し、できるようになった子も増えた。
- 体験的な活動を多く取り入れてきたことが、文化を感じたり比較したりする上で、とても重要だった。交流場面では、体験したことをもとに自分の言葉で伝え合うことができていた。
- Globe 嫌いをなくすために、支援の方法を工夫してきたことで、Globe 好きが増えた。また、個に応じた支援について進めることができた。
- 「単元のゴール」が習得したものを生かして思考を深める場面をもっと重視すべきである。
- L/G 要素の思考・判断・表現の評価は、単元において多くはない。1年間を通して達成できたかどうかを見取ることが必要である。したがって、カリキュラムのどこに位置付けてあるのかを明確に表示すべきではないかと考える。
- Globe 嫌いの原因は「英語が苦手」「人と関わるのが苦手」である。苦手の原因は自己肯定感の低さにも起因している。それらの原因を解決するために、個への支援を中心に手立てとして進めてきたので、一応の成果が出たものの、人と関わることについても Globe の時間だけで改善できることではない。学級経営や他教科など全ての教育活動を通して解決していきたい課題である。
- Globe 別葉について意識しながら進めてきたこともあったが、不十分であった。



JET s の協力あつての Globe